



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町  
マスコット  
キャラクター  
「カーミン」

# かみかわ

第 55 号

平成 30 年 5 月 9 日



田植えて稼動する新野の水車

第5期 神河町議会がスタート .....	2 ~ 3
新議員の抱負と決意 .....	4 ~ 5
第84回臨時会 .....	6

4月22日、神河町議会議員選挙が行われ、新しく12人の議員が誕生しました。初議会となる第84回臨時会が、5月2日に招集され、議長には安部重助議員、副議長には藤原日順議員が選出されました。各委員会構成なども行い、新しい体制でスタートしました。

町からは、報告1件、専決3件、補正予算1件、監査委員の選任が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

「議員の責務と適切な判断で

調和の取れた町づくりを目指して」

議長 安部重助 (大畑)



感じています。

地方創生が叫ばれる中、少子高齢化による人口減少、合併による施設の重複や老朽化等、深刻な問題が山積しています。

議長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

引き続き議長の職を仰せつかり、身に余る光栄と同時に責任の重さを痛

調和の取れた町づくり、町民皆様に喜んでいただける「住みたい神河町」を指し、どう取り組むかが私たち議員に与えら

れた大きな責務でありま

議会には、議決権と、執行機関を監視・評価する2つの役割が与えられています。議会と長は対等の立場をとりながら、抑制と均衡により、住民の負託に応えなければなりません。12人の議員一丸となって諸問題に取り組んでまいります。

今後とも議会に対するご理解とご指導をお願いしまして、就任のご挨拶といたします。

総務文教常任委員会

○担当するところがら

総務課、情報センター、税務課、会計課、教育委員会の事務及び他の常任委員会の担当しない事務の調査。

- 委員長 三谷 克巳
副委員長 澤田 俊一
委員 廣納 良幸
委員 吉岡 嘉宏
委員 小島 義次
委員 松山 陽子
委員 栗原 廣哉
委員 藤原 日順

民生福祉常任委員会

○担当するところがら

住民生活課、健康福祉課、公立神崎総合病院の事務の調査。

- 委員長 松山 陽子
副委員長 廣納 良幸
委員 澤田 俊一
委員 小寺 義次
委員 小島 義次
委員 藤原 正晴
委員 藤原 裕和
委員 安部 重助

産業建設常任委員会

○担当するところがら

地域振興課、建設課、地籍課、上下水道課、ひと・まち・みらい課の事務の調査。

- 委員長 藤原 正晴
副委員長 栗原 廣哉
委員 三谷 克巳
委員 小寺 俊輔
委員 吉岡 嘉宏
委員 藤原 裕和
委員 藤原 日順
委員 安部 重助



『ムリ・ムダ・ムラ』を無くします

副議長 藤原 日 順 (吉富)



皆さまのお力添えで再々度、議場に立たせていただきます。また、初議会での選挙により、副議長という重責を担うことになりました。

今の神河町は少子高齢化問題を初め種々の問題を抱えています。浅学非才の身ではありますが、安部議長をしっかりと支え、町政発展のため円滑且つ慎重な議会運営を通して適正妥当な議決結果に導けるよう精一杯務めてまいります所存でございます。

引続き皆さまのご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

また、常々申し上げておりますとおり、行政当局とは「一歩離れて二歩離れず」の立場で臨みながら、「ムリ・ムダ・ムラ」を無くす、つまり、無理せず、無駄を省いて、ムラ（&村意識）の無い神河町を目指して努めてまいります。

以上、副議長就任のご挨拶とさせていただきます。



議会選出監査委員

小寺 俊輔

議会運営委員会

委員長 廣納 良幸  
副委員長 三谷 克巳  
委員 松山 陽子  
委員 藤森 正晴  
委員 藤原 日順

広報公聴活動調査  
特別委員会

委員長 吉岡 嘉宏  
副委員長 小島 義次  
委員 澤田 俊一  
委員 藤原 裕和  
委員 栗原 廣哉  
委員 藤原 日順

人権文化推進  
特別委員会

委員長 廣納 良幸  
副委員長 小寺 俊輔  
委員 三谷 克巳  
委員 松山 陽子  
委員 藤森 正晴

公立神崎総合病院  
北館改築事業調査  
特別委員会

委員長 藤原 裕和  
副委員長 小島 義次  
委員 廣納 良幸  
委員 三谷 克巳  
委員 澤田 俊一  
委員 小寺 俊輔  
委員 吉岡 嘉宏  
委員 松山 陽子  
委員 藤森 正晴  
委員 栗原 廣哉  
委員 藤原 日順

事務組合議会議員

中播衛生施設  
事務組合

議員 安部 重助  
議員 松山 陽子

中播北部行政  
事務組合

議員 安部 重助  
議員 藤原 日順  
議員 松山 陽子

中播農業共済  
事務組合

議員 安部 重助  
議員 藤森 正晴

# 抱負と決意



ひろのう よしゆき  
廣納 良幸

(柏尾)

『初心を忘れず、子ども達の未来のために』

災害に負けない町、災害に強い地域をつくるために、最大限の努力を傾注してまいります。それが安全・安心の未来につながり、子ども達を安全に、お年寄りが安心して暮せる神河町にする事が議員にして頂いた私の覚悟であり、想いです。



みたに かつみ  
三谷 克巳

(南小田)

『地域の実情に応じた』

『施策・事業の提言』

人口減少に起因する課題が山積する神河町。面積が広いため、地理・気象条件、社会的条件が異なるので、地域の実態に則した施策・事業の展開が必要です。その提言に頑張ります。



さわだ しゅんいち  
澤田 俊一

(福本)

『「近助」の精神で誰もが安全安心な地域づくりを』

多くの皆様のご支援により、初めて議席をお預かりしました。責任の重さを痛感しております。良識ある発言と行動・決断をお約束します。長年この町に暮らして来られた皆様が、豊かさを実感できる神河町を目指します。



こてら しゅんすけ  
小寺 俊輔

(寺前)

『ずっと住み続けてこられた方が』

『幸せを感じる町を目指す』

1期目を振り返ると若者移住対策、観光施策といった人口減対策が町の重要施策でした。一方でずっと住み続けてこられた方への施策が不十分だったと感じています。交通弱者対策など、地域が元気になるために全力を尽くします。



よしおか よしひろ  
吉岡 嘉宏

(大河)

『神河町をもっと元気に』

『皆様とともに』

神河町は県下最少の人口の町ではありますが、各種事業の積極的な推進の結果、マスコミからも注目を集めている自治体となっております。皆様のご意見をしっかりと聞き、神河町をもっと元気に出来るよう取り組みます。



兵庫県神崎郡神河町議会





# 新 議 員 の



ふじもり まさはる  
藤 森 正晴

(山田)

『過疎の町返上、今、が大事』

神河町が過疎の町に指定されました。過疎債（4年間で33億円の補助）をどう活かすのか。どうすることが次世代に誇れる町に繋がるのか。

「汗をかき、知恵を出し進める行政を」の思いです。ご指導よろしくお願ひします。



こじま よしつぐ  
小島 義次

(寺前)

『安心・安全な希望の』

もてる町づくりを』

町づくりは人づくり。すべての子どもたちが、将来への希望をもって学習できる教育環境の充実を目指します。また、自然豊かな神河町で、自然のリスクとも共存しながら、高齢者も安心して暮らせる町づくりを進めます。



ふじわら ひろかず  
藤原 裕和

(高朝田)

『信頼される開かれた議会をめざすが、こんなことではあかん』

初議会、役職欲しさの役分配？

また、ヨーデル勤務の議員の兼業禁止を庇う正副議長これでは何も変えられん！足元審議より、一に実行二に実行の精神でもっと将来を見通せる目を養い、政策提言でき評価される議会改革を先導したい。



まつやま ようこ  
松山 陽子

(赤田)

『つながりと助け合いで』

笑顔があふれる町に』

地域で寄り添い助け合える環境や、行政内や事業所等との連携がとれた支援があれば、生活上の不安や悩みも抱え込まずにすみます。皆さまに笑顔で暮らしていただけるよう、微力ではありますが邁進してまいります。



くりはら ひろや  
栗原 廣哉

(栗)

『安全安心な町づくりをめざす』

現在の神河町は、少子高齢化が進み空家が急激に増えています。

また、観光等で町外の人の流入が増え、これに付随して交通事故や泥棒、詐欺等の犯罪も増えています。

犯罪を防ぎ、町民が安心して暮らせる町にしていきたい。

## 第84回臨時会

5月2日開催の第84回臨時会の議会構成以外の内容は次のとおりです。すべて全会一致で承認・可決しています。

### 平成30年度神河町一般会計補正予算（第1号）

昨年度、兵庫県に申請し、採択保留になっていた、川上区内の県単独補助治山事業が採択されました。その関連事業費として、歳入歳出それぞれ1240万円を増額するものです。

### 【専決報告】

本年2月22日に発生した公用車の対物事故について、3月28日に示談が成立し、損害賠償を行った旨の報告がありました。（ホテルリラクシア敷地内での接触事故に対する賠償…11万3400円）

### 【専決処分】

#### 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

3月30日に地方税法等の一部改正を受け、町の国民健康保険税条例の一部改正が必要となったこととによりものです。

主な内容は、課税限度額の引き上げと軽減判定所得の算定方法の変更です。

#### 税条例等の一部を改正する条例

3月30日に地方税法等の一部改正を受け、町の税条例等の一部改正が必要となったことによるものです。

主な内容は、個人住民税の基礎控除等の見直し、現行の土地に係る固定資産税の負担調整措置等を継続する改正、たばこ税の税率引き上げ等の見直しです。

### 平成29年度一般会計補正予算（第10号）

主な内容	補正額
□ 歳入	
地方譲与税	2,061
利子割交付金	857
配当割交付金	179
株式等譲渡所得割交付金	4,222
ゴルフ場利用税交付金	△ 1,321
地方消費税交付金	△ 1,048
自動車取得税交付金	4,535
地方交付税	160,458
交通安全対策特別交付金	△ 489
繰入金	△ 163,196
諸収入	△ 1,358
町債	△ 4,900
計	0

（単位：千円）

主に交付金の確定によるものです。歳出の補正はありません。

## あ と が き

平成17年11月7日神河町誕生から4回目の町議会議員選挙が4月22日に執行されました。

県内12の町の議会選挙は無投票になった町もあるように立候補者不足が問題となっていますが、県内最少人口の神河町は定数を4人もオーバーする激戦になりました。これは地方創生事業をはじめ各種事業に積極的に取り組む神河町が町内外から注目され、魅力的で活気のある証だと考えます。

今回当選の12人の議員全員にあてはまることだと思いますが、自分の思う候補者の氏名を投票用紙に記載された住民の方は、その候補者にすべての事柄の行動判断について白紙委任されたわけではありません。

議員は難しい局面にぶち当たった時は幅広い意見を求めそれを咀嚼し、独りよがりの判断をしないよう努めるべきと思っています。

自戒の念も込め「自分に投票していただいた方々の思いを裏切らない議員」でいたいと思います。

（Y・Y）



#### 広報公聴活動調査

#### 特別委員会

委員長	吉岡 嘉宏
副委員長	小島 義次
委員	澤田 俊一
委員	藤原 裕和
委員	栗原 廣哉
委員	藤原 日順

